

平成25年度 事業計画書
公益社団法人 化学工学会

平成25年度重点施策
～ 未来を築く ～

1. 人材育成の充実
 - ① 資格制度の更なる充実と社会への広報
 - ② 企業が求める化学工学者の育成に資する講座等の充実と関係団体との連携強化
 - ③ 学生会員の海外との相互交流
2. 地球的課題への挑戦と情報の発信
 - ① 地球の持続的発展のための課題解決を図るプロジェクトの展開
3. 国際交流の充実
 - ① 海外の化学工学会との連携強化
 - ② 英語ホームページの充実と海外への発信
4. 学会活動の活発化と会員サービスの更なる向上
 - ① “化学工学会 電子図書館”の拡充と会員への技術情報の提供
 - ② 会員交流のための新たな小規模かつ自由闊達な意見交換の場の提供
5. INCHEM TOKYO 2013 の成功と多様な連携強化
 - ① INCHEM TOKYO 2013 の成功
 - ② 各種フォーラムを通じた産官学連携の強化

[1] 公益事業

1. 学術集会事業

(1) 本部大会

①第78年会 (H25年3月17～19日) 大阪大学

②第45回秋季大会 (H25年9月16～18日) 岡山大学

・年会における「化学産業技術フォーラム」の開催

・年会における国際シンポジウムの開催

(2) 支部大会

・北海道、東北、関東3支部合同大会 (H25年8月8～9日) 岩手大学

・関西、中国四国、九州3支部合同大会 (H25年11月9～10日) 熊本にて

(3) 講演会、シンポジウム

・各種講演会、シンポジウム、講習会、技術交流会等の開催

2. 国際交流事業

(1) 海外化学工学会との連携強化

・アセアン諸国との交流を促進する

・年会での国際シンポジウムを企画し、合わせてアジア国際賞受賞者講演を開催する。

- ・協力協定を締結した中国、韓国、台湾の化学工学会との、共催シンポジウム、交流会などの企画、相互のニーズに基づく国際交流事業の推進を検討する。
- (2) 個別交流事業の実施
 - ・中国；日中化工シンポジウムの企画
 - ・韓国；化学工学に関する国際シンポジウムの企画
 - ・ドイツ；DECHEMA,ACHEMAとの共催シンポジウムの企画
 - ・米国；AIChEでのReceptionの開催、Joint Symposiumの企画
 - ・ASEAN；フィリピン開催でのRSCEへの参加と交流
 - ・台湾；Joint Session、Joint Symposiumの企画
 - ・APCCHE/WCEC；SeoulでのWCCE9の参加
- (3) 化学工学各種事業の国際化に向けた検討
 - ・支部、部会、委員会の英文ホームページの作成支援
 - ・現行ホームページの充実と海外への発信
 - ・英文ニュースレターの海外会員へのネット配信を検討する
 - ・INCHEM TOKYOのコンテンツや化学工学会企画セミナーなどの国際化
 - ・化学産業界、化学機械・機器メーカーのニーズに基づく国際交流事業の推進
 - ・継続的な留学生調査と日本留学経験者中心に海外会員を組織したバーチャル海外支部設立と支援

3. 人材育成事業

- (1) 夢化学
 - ・「夢化学—21委員会」と協働した活動の推進
 - ・高校生向けのWebビデオの作成。
- (2) 理科教育
 - ・学生発表会の開催（H25年3月2日山形大学、北九州市立大学）
- (3) 高等教育
 - ・高等教育機関充実につながる活動の企画、立案
 - ・SIS部会の情報技術教育分科会「プロセスデザイン学生コンテスト」に共催
- (4) 継続教育
 - ・技術者の継続教育の企画、開発、実施
- (5) 経営ゼミナール
 - ・第38回経営ゼミナールの開催
 - ・過去3年の受講者と今年度受講者との合同交流会を開催
- (6) インターンシップ
 - ・H25年度インターンシップの実施
- (7) その他
 - ・教育奨励賞の表彰

4. 資格付与事業

- (1) 資格制度
 - ・H25年度上席化学工学技士、化学工学技士、化学工学技士（基礎）、化学工学修習士・審査・登録の実施
- (2) 教育審査
 - ・JABEEの運営協力及び化学分野の審査支援

5. 出版事業

- (1) 学会誌
 - ・連載記事の充実
 - ・広告（会誌、HP）獲得の拡大
- (2) ホームページ
 - ・現行ホームページのコンテンツの充実
 - ・電子図書館の充実
- 6. 受託事業
 - ・化学工学 Web 教材制作事業
 - ・調査研究事業の実施及び受託等の情報収集
- 7. 技術相談事業
 - ・産から学会への提言システムの構築と連携の推進
 - ・常置委員会の活動支援による交流会の増強
 - ・課題解決型タスクフォース等の推進
- 8. 審査事業
 - ・論文誌のプレゼンス向上に係わる企画立案
 - ・特集企画の立案による投稿記事の促進
 - ・優秀論文賞及び論文審査貢献賞の表彰
- 9. 表彰事業
 - ・名誉会員候補者の推薦
 - ・H25 年度化学工学会賞の表彰
- 10. 男女共同参画事業
 - ・第 45 回秋季大会（岡山）及び東京（第 11 回）における「学生のためのキャリアデザインセミナー」の開催
 - ・「うちの取組」シリーズ及び「目指せ！ダイバーシティー」シリーズを継続
 - ・「女性技術者ネットワーク」を継続的に開催
 - ・本部大会開催期間中における保育サービスの実施

[2] 収益等事業

- 1. 展示出展事業
 - ・INCHEM TOKYO 2013 の開催（H25 年 10 月 30 日～11 月 1 日）
産学官マッチングフォーラムの企画と開催
UNIDO、EU の出展参加、DECHEMA とのジョイントシンポジウム企画と開催
 - ・グリーン・イノベーション EXPO 2014 の計画立案
- 2. 相互扶助事業
 - (1) 支部・懇話会
 - ・「会員交流の促進」「人材育成の充実」
 - ・地域 C T 賞の表彰
 - (2) 部会
 - ・部会の専門書の出版の推進
 - ・部会 C T 賞の表彰

- ・部会HPの継続的な更新と適切な運用の推進
- (3) 会員増強
 - ・支部、部会との連携による会員増強の推進
 - ・会員増強功績賞の表彰
- (4) 戦略企画
 - ・Vision 2023 の継続的なフォロー
 - ・クローズドコンソーシアムによる既存プロセスの技術革新の検討継続
 - ・次世代エネルギー技術、システムの提言を継続
 - ・CO2 削減、資源利用の最適化の検討

[3] 刊行物

1. 定期刊行物

- (1) 「化学工学」誌 第77巻No. 1～12号(12冊)

・ページ数：60ページ/号平均

- (2) 「化学工学論文集」第39巻No. 1～6

・ページ数：80ページ/号平均

電子版：奇数月発行6回/年

冊子版：1、3月号、5、7月号、9、11月号を合本として年3回発行

- (3) “JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN” 第46巻No. 1～12

・ページ数：90ページ/号平均

電子版：毎月発行 12回/年

冊子版：1～3月号、4～7月号、8～12月号を合本として年3回発行

2. 不定期刊行物

・未定

[4] 支部事業

別紙「平成25年度各支部事業計画書」参照

[5] 部会事業

別紙「平成25年度各部会事業計画書」参照